

No. 12 - ① 武蔵野の公園で見られる初夏～夏の草花



ラン科



アヤメ科



キク科



ドクダミ科



カタバミ科

1.ネジバナ (擬花)

- 特徴：花がねじれてつく
- 花の大きさ：約5mm

4～8月にピンク色の花がさきます。花は右まきも左まきもあり、葉はほとんどが根元につきます。周りの草の高さが低い、明るい草地で見られます。

2.ニワゼキショウ (庭石菖)

- 特徴：花びらの先がとがる
- 花の大きさ：約1.5cm

5～6月に白や赤むらさき色で、中心が黄色の花がさきます。北アメリカから入ってきた花で、日当たりのよい土手や草地に多く生えています。

3.キツネアザミ (狐薊)

- 特徴：細く小さな花が集まる
- 花の大きさ：2～2.5cm

5～6月にピンク色の花がさきます。高さは60～90cmほどになります。アザミに似ていますが別の仲間で、葉にトゲはありません。明るい草地で見られます。

4.ドクダミ (葎)

- 特徴：葉はハート型で先が細い
- 花の大きさ：約2cm

5～7月に白色の花がさきます。葉やくきをちぎると強い匂いがしますが、葉はお茶にされます。細かい根からも芽が出るのでよく増え、草地で多く見られます。

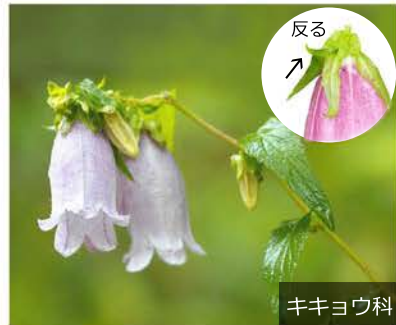
5.カタバミ (片喰)

- 特徴：葉はハート型で3枚1組
- 花の大きさ：8～10mm

5～9月に黄色い花がさきます。くきは地面をはって横に広がり、道ばたや芝生、庭などでよく見られます。葉は夜の間はとじています。



アカバナ科



キキョウ科



ツククサ科

6.アカバナユウゲショウ (赤花夕化粧)

- 特徴：花に赤色の線が入る
- 花の大きさ：1～1.5 cm

5～9月に赤むらさき色の花がさきます。北アメリカから入ってきた花で、河原など日当たりのよい場所に多く見られます。

- 花が咲く順番に並んでいます。

7.ホタルブクロ (蛍袋)

- 特徴：ガクの間が反り返る
- 花の大きさ：4～5cm

6～7月にうすい赤むらさき色の花がさきます。よく似たヤマホタルブクロはガクの間が反りません。日当たりのよい林で見られます。

8.ツククサ (露草)

- 特徴：2本の雄しべが長い
- 花の大きさ：1.5～2cm

6～9月に青色の花がさきます。花は1本のくきに3つあって順番にひらきますが、2つ同時にさくこともあります。明るい草地や林でよく見られます。



花に開いた穴

虫に花粉を運んでもらう植物は、花の中に蜜をもっています。蜜を食べるために花の中に入ると、雄しべにさわって花粉が体につくのです。

ところで、袋型や筒型の花には、横に穴が開いていることがあります。クマバチのように、入口を通らず穴から蜜を食べるちゃっかり者がいるのです。これを「盗蜜」といいます。いつも、思いどおりに花粉を運んでもらえるわけではないのです。

花に開いた穴にも、花と虫の面白い関係が隠れているんですね。





ユリ科

1. ヤマユリ (山百合)

- 特徴：花は大きくよい香り
- 花の大きさ：約20cm

7～8月に白色の花がさきます。元々日本にあったユリで、色々な種類を作るもとになりました。明るい林で見られ、年をとるほど多くの花をつけます。



ユリ科

2. オニユリ (鬼百合)

- 特徴：花びらが大きく反る
- 花の大きさ：約8cm

7～8月にオレンジ色の花がさきます。葉の根元に「むかご」という芽が付き、これが地面に落ちて増えます。ヤマユリと同じく明るい林で見られます。



ユリ科

3. ノカンゾウ (野萱草)

- 特徴：花びらは6枚
- 花の大きさ：約8cm

7～8月にオレンジ色の花がさきます。たくさんついたつぼみが順番にひらき、花は1日でしぼみます。実ができることは少ないです。



ユリ科

4. ヤブカンゾウ (藪萱草)

- 特徴：花びらが多い (八重咲き)
- 花の大きさ：約10cm

7～8月にオレンジ色の花がさきます。たくさんをつぼみがつき、花は雄しべの一部が花びらのようになります。球根で増えるので実はできません。



ユリ科

5. ジャノヒゲ (蛇髭)

- 特徴：葉は長く、幅は約3mm
- 花の大きさ：6～7mm

7～8月に白色でラッパ型の花がさきます。くきは10cmほどで、葉にかくれるようにのびます。日かげでも育ち、林の中でよく見られます。



バラ科

6. キンミズヒキ (金水引)

- 特徴：花は下から順番にさく
- 花の大きさ：5～10mm

7～9月に黄色い花がさきます。花はくきの先に棒のような形に集まります。実には先がまがったトゲがあり、動物などにくっついて他の場所へ運ばれます。



アカネ科

7. ヘクソカズラ (屁糞蔓)

- 特徴：花はつぼ型
- 花の大きさ：5～10mm

7～9月に、中心が赤色の白い花がさきます。他の物にまきつくツル植物で、葉やくきをもむと独特の青くさい匂いがします。日当たりのよい林で見られます。



ヒガンバナ科

8. キツネノカミソリ (狐剃刀)

- 特徴：花と葉は同時に出ない
- 花の大きさ：5～8cm

8月にオレンジ色の花がさき、全体に毒があります。葉は花がさく前には枯れてしまうので、一緒に出ることはありません。明るい林で見られます。



バラ科

9. ワレモコウ (吾赤紅)

- 特徴：小さな花が集まる
- 花の大きさ：約5mm

8～10月に赤色の花が上からさいていきます。1つ1つの花にあるピンク色のものはガクで、花びらはありません。日当たりのよい草地で見られます。



ユリ科

10. ヤブラン (藪蘭)

- 特徴：葉は長く、幅は約1cm
- 花の大きさ：約6mm

8～10月にうすむらさき色の花がさきます。花は棒のような形に集まって、葉よりも上にのびます。日かげでもよく育ち、林の中で多く見られます。